



JASDAQ

平成23年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月11日

上場会社名 高橋カーテンウォール工業株式会社

上場取引所 大

コード番号 1994

URL <http://www.t-cw.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 高橋 武治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 影山 信博

(TEL) 03(3271)1711

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年12月期第2四半期の連結業績(平成23年1月1日~平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年12月期第2四半期	3,935	△18.8	△295	—	△300	—	△1,441	—
22年12月期第2四半期	4,848	△28.9	13	△88.5	0	△99.1	19	△69.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年12月期第2四半期	△164 52	—
22年12月期第2四半期	2 13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年12月期第2四半期	12,437	4,559	36.6	520 16
22年12月期	13,996	5,989	42.8	683 44

(参考)自己資本 23年12月期第2四半期

4,556百万円

22年12月期

5,988百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年12月期	—	0 00	—	0 00	0 00
23年12月期	—	0 00	—	—	—
23年12月期(予想)	—	—	—	0 00	0 00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年12月期の連結業績予想(平成23年1月1日~平成23年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	7,795	△13.1	△455	—	△460	—	△1,630	—	△186	08

(注)当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
新規 — (社名)、除外 — 社 (社名)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 有

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年12月期2Q	9,553,011株	22年12月期	9,553,011株
② 期末自己株式数	23年12月期2Q	793,367株	22年12月期	790,317株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年12月期2Q	8,760,620株	22年12月期2Q	8,927,458株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第2四半期連結累計期間】	7
【第2四半期連結会計期間】	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、3月11日に発生した東日本大震災や原子力発電所の事故により、一部回復の兆しが見られていた企業活動も大きな影響を受けて停滞し電力供給問題や原子力発電所事故の長期化等により、経済の先行きは不透明な状況で推移しました。

このような状況の下、建設業界におきましては一部に建設工事の遅れ等が見られ厳しい経済環境が続いておりますが、当社企業グループは徹底したコスト管理と営業・生産の総合力で受注高確保を図っております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は39億35百万円（前年同四半期比18.8%減）、営業損失2億95百万円（前年同四半期は13百万円の営業利益）、経常損失3億円（前年同四半期は0百万円の経常利益）、四半期純損失14億41百万円（前年同四半期は19百万円の四半期純利益）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①PCカーテンウォール事業

生産設備の拡充によって差別化製品の受注強化を図っております。

この結果、売上高は31億66百万円、セグメント損失は79百万円となりました。

②アクア事業

東日本大震災で被害を受けたプール可動床の修復工事を受注しております。

この結果、売上高は1億33百万円、セグメント損失は23百万円となりました。

③システム収納家具事業

東日本大震災後のコストアップ圧力を吸収すべく受注単価の改善を図っております。

この結果、売上高は1億29百万円、セグメント損失は74百万円となりました。

④建設事業

肥大化した組織のスリム化と直接受注できる顧客の開拓を図っております。

この結果、売上高は5億67百万円、セグメント損失は32百万円となりました。

⑤その他

その他は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び環境関連ビジネスであります。当セグメントの売上高は73百万円、セグメント損失は86百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は124億37百万円と前連結会計年度末と比較して15億59百万円の減少となりました。これは主に未成工事支出金3億79百万円、土地6億87百万円及び投資その他の資産その他（繰延税金資産）3億78百万円が減少したことによるものであります。

②負債の状況

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は78億78百万円と前連結会計年度末と比較して1億28百万円の減少となりました。これは主に未成工事受入金が1億31百万円減少したことによるものであります。

③純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は45億59百万円と前連結会計年度末と比較して14億30百万円の減少となりました。これは主に利益剰余金が、四半期純損失の計上により14億41百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年8月9日に公表いたしました連結業績予想と変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(会計処理基準に関する事項の変更)

(資産除去債務に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業損失及び経常損失は、それぞれ784千円増加し、税金等調整前四半期純損失は5,627千円増加しております。

(表示方法の変更)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)

- 1 前第2四半期連結累計期間において、営業外収益の「その他」に含めていた「鉄屑売却収入」(前第2四半期連結累計期間17,019千円)については、営業外収益総額の100分の20を超えたため、当第2四半期連結累計期間では区分掲記しております。
- 2 前第2四半期連結累計期間において、営業外費用の「その他」に含めていた「不動産賃貸費用」(前第2四半期連結累計期間13,351千円)については、営業外費用総額の100分の20を超えたため、当第2四半期連結累計期間では区分掲記しております。
- 3 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目を表示しております。

当第2四半期連結会計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

- 1 前第2四半期連結会計期間において、営業外収益の「その他」に含めていた「鉄屑売却収入」(前第2四半期連結会計期間12,710千円)については、営業外収益総額の100分の20を超えたため、当第2四半期連結会計期間では区分掲記しております。
- 2 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結会計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目を表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	419,976	614,092
受取手形・完成工事未収入金等	1,865,165	1,952,281
未成工事支出金	1,829,062	2,208,098
その他のたな卸資産	149,735	237,908
その他	153,893	120,186
貸倒引当金	△6,300	△6,300
流動資産合計	4,411,532	5,126,267
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	1,397,889	1,417,388
土地	1,761,877	2,449,437
その他(純額)	288,957	226,934
有形固定資産合計	3,448,724	4,093,760
無形固定資産		
投資その他の資産	201,577	185,313
投資有価証券	237,644	233,500
投資不動産(純額)	2,219,749	2,090,788
保険積立金	1,076,182	1,061,880
その他	884,597	1,247,824
貸倒引当金	△42,367	△42,367
投資その他の資産合計	4,375,806	4,591,627
固定資産合計	8,026,108	8,870,702
資産合計	12,437,641	13,996,969
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	1,092,295	1,155,986
短期借入金	1,788,088	1,341,428
1年内償還予定の社債	762,000	758,600
未成工事受入金	278,229	409,393
引当金	115,927	115,174
その他	175,194	301,206
流動負債合計	4,211,734	4,081,789
固定負債		
社債	1,704,300	1,987,000
長期借入金	1,232,929	1,268,639
役員退職慰労引当金	372,167	359,988
引当金	1,456	1,218
その他	355,925	308,481
固定負債合計	3,666,777	3,925,326
負債合計	7,878,511	8,007,115

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,542,968	4,542,968
資本剰余金	1,697,751	1,697,751
利益剰余金	△1,523,238	△81,929
自己株式	△149,016	△148,506
株主資本合計	4,568,464	6,010,284
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△12,053	△21,521
評価・換算差額等合計	△12,053	△21,521
新株予約権	2,718	1,092
純資産合計	4,559,129	5,989,854
負債純資産合計	12,437,641	13,996,969

(2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)
完成工事高	4,848,628	3,935,823
完成工事原価	4,306,287	3,815,352
完成工事総利益	542,340	120,470
販売費及び一般管理費	529,325	415,932
営業利益又は営業損失(△)	13,015	△295,461
営業外収益		
受取利息	786	1,004
投資有価証券売却益	4,462	567
投資不動産賃貸料	25,015	28,979
鉄屑売却収入	—	17,842
その他	62,228	25,520
営業外収益合計	92,492	73,915
営業外費用		
支払利息	37,917	37,808
社債発行費	13,564	2,409
投資有価証券評価損	14,097	3,339
不動産賃貸費用	—	19,304
その他	39,109	16,060
営業外費用合計	104,689	78,922
経常利益又は経常損失(△)	819	△300,469
特別利益		
完成工事補償引当金戻入額	—	2,740
役員退職慰労引当金戻入額	4,650	—
特別利益合計	4,650	2,740
特別損失		
固定資産除却損	1,321	19,792
減損損失	—	677,000
災害による損失	—	29,488
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	4,842
特別損失合計	1,321	731,124
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	4,148	△1,028,853
法人税、住民税及び事業税	5,064	5,086
法人税等調整額	△3,035	407,368
法人税等還付税額	△12,214	—
過年度法人税等戻入額	△4,722	—
法人税等合計	△14,907	412,455
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△1,441,309
四半期純利益又は四半期純損失(△)	19,056	△1,441,309

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
完成工事高	1,989,313	2,901,772
完成工事原価	1,806,452	2,837,913
完成工事総利益	182,861	63,859
販売費及び一般管理費	274,832	203,324
営業損失(△)	△91,971	△139,465
営業外収益		
受取利息	341	328
投資不動産賃貸料	12,920	14,157
鉄屑売却収入	—	9,594
その他	37,103	12,369
営業外収益合計	50,365	36,450
営業外費用		
支払利息	18,945	19,200
投資有価証券評価損	△8,710	2,909
その他	20,433	15,293
営業外費用合計	30,667	37,403
経常損失(△)	△72,273	△140,418
特別利益		
完成工事補償引当金戻入額	—	△2,730
特別利益合計	—	△2,730
特別損失		
固定資産除却損	449	19,124
減損損失	—	677,000
災害による損失	—	△4,681
特別損失合計	449	691,442
税金等調整前四半期純損失(△)	△72,723	△834,590
法人税、住民税及び事業税	2,685	2,676
法人税等調整額	△2,743	406,613
法人税等還付税額	△12,214	—
過年度法人税等戻入額	△4,722	—
法人税等合計	△16,995	409,290
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△1,243,881
四半期純損失(△)	△55,728	△1,243,881

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	4,148	△1,028,853
減価償却費	123,351	105,656
減損損失	—	677,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	18,750	—
投資有価証券評価損益(△は益)	14,097	3,339
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	4,842
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	8,663	12,179
引当金の増減額(△は減少)	10,101	990
受取利息及び受取配当金	△2,944	△2,666
投資有価証券売却損益(△は益)	2,358	△567
支払利息	37,917	37,808
売上債権の増減額(△は増加)	△279,993	87,115
未成工事支出金の増減額(△は増加)	1,042,198	379,036
その他のたな卸資産の増減額(△は増加)	21,882	88,173
その他の資産の増減額(△は増加)	△40,919	△75,625
仕入債務の増減額(△は減少)	△207,887	△63,691
未成工事受入金の増減額(△は減少)	△583,846	△131,164
その他の負債の増減額(△は減少)	△18,175	△100,270
その他	△13,263	7,308
小計	136,439	611
利息及び配当金の受取額	3,269	2,936
利息の支払額	△38,130	△40,479
法人税等の支払額	△11,207	△10,026
営業活動によるキャッシュ・フロー	90,370	△46,957
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△61,368	△147,383
無形固定資産の取得による支出	—	△19,452
投資有価証券の取得による支出	△49,982	△500
投資有価証券の売却による収入	56,510	3,053
投資不動産の取得による支出	—	△106,175
貸付けによる支出	△9,400	△2,100
貸付金の回収による収入	29,241	5,358
その他	△3,600	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△38,599	△267,210

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△86,650	480,000
長期借入金の返済による支出	△102,541	△69,050
社債の発行による収入	386,435	97,590
社債の償還による支出	△392,600	△379,300
自己株式の取得による支出	△142,402	△509
配当金の支払額	△87,360	△526
その他	△8,459	△8,459
財務活動によるキャッシュ・フロー	△433,577	119,745
現金及び現金同等物に係る換算差額	722	305
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△381,083	△194,116
現金及び現金同等物の期首残高	857,362	474,092
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	25,255	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	501,535	279,976

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1 報告セグメントの概要

当社企業グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社企業グループは、顧客に提供する製品・サービスの特性をベースとして構成した、「PCカーテンウォール事業」、「アクア事業」、「システム収納家具事業」、「建設事業」の4つを報告セグメントとしております。

「PCカーテンウォール事業」は、主としてオフィスビルの外壁の設計・製造・施工を行っております。

「アクア事業」は、スポーツ施設及び各種温浴施設の企画・設計・施工を行っております。

「システム収納家具事業」は、システム収納家具の設計・製造・施工を行っており、「建設事業」は、商業施設、アミューズメント施設の内装に関する企画・設計・施工及び建築工事全般に関する企画・設計・施工を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	PCカーテン ウォール事 業	アクア事 業	システム 収納家具 事業	建設事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	3,166,017	133,147	129,962	433,464	3,862,592	73,231	3,935,823	—	3,935,823
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	134,213	134,213	460	134,673	△134,673	—
計	3,166,017	133,147	129,962	567,677	3,996,805	73,691	4,070,496	△134,673	3,935,823
セグメント損 失(△)	△79,052	△23,589	△74,839	△32,766	△210,248	△86,453	△296,701	1,239	△295,461

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び環境関連ビジネスであります。

2 セグメント損失(△)の調整額1,239千円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第2四半期連結会計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	PCカーテン ウォール事 業	アクア事 業	システム 収納家具 事業	建設事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	2,618,185	58,288	21,263	165,174	2,862,911	38,861	2,901,772	—	2,901,772
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	132,950	132,950	—	132,950	△132,950	—
計	2,618,185	58,288	21,263	298,124	2,995,861	38,861	3,034,722	△132,950	2,901,772
セグメント利 益又はセグメ ント損失(△)	23,431	△4,197	△55,750	△9,557	△46,073	△87,959	△134,032	△5,432	△139,465

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び環境関連ビジネスであります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△5,432千円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結会計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

(固定資産に係る重要な減損損失)

「PCカーテンウォール事業」セグメントの滋賀工場において、当該工場から得られるキャッシュ・フローが、帳簿価額を下廻り、その使用価値を回収することが困難であると認められることから減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結会計期間において6億77百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。